

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成30年11月1日(2018.11.1)

【公開番号】特開2017-38712(P2017-38712A)

【公開日】平成29年2月23日(2017.2.23)

【年通号数】公開・登録公報2017-008

【出願番号】特願2015-161399(P2015-161399)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

A 6 3 F 5/04 5 1 4 E

【手続補正書】

【提出日】平成30年9月21日(2018.9.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

画像を表示可能な画像表示手段と、

前記画像表示手段に表示される画像を制御可能な制御手段と、

を備え、

前記制御手段は、

第1画像と第2画像とが一体的に表示された第1表示態様と、前記第1画像と前記第2画像とが異なる位置に表示された第2表示態様とを前記画像表示手段に表示する制御を実行可能であり、かつ、該第1表示態様が表示された後に、該第2表示態様が表示される特定表示制御を実行可能である遊技機。

【請求項2】

前記第1表示態様が表示された後に、前記第1画像と前記第2画像とが一体的に移動し、前記第1画像が第1位置で表示され、その後、前記第2画像は該第1位置と異なる第2位置まで移動可能である請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

遊技者の操作を検出可能な操作検出手段を備え、

前記第1画像と前記第2画像とが一体的に移動している所定の期間において前記操作検出手段により操作が検出されたときに、前記第1画像を前記第1位置で表示可能である請求項2に記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

本発明に係る遊技機は、上記目的達成のため、画像を表示可能な画像表示手段（液晶表示装置11）と、前記画像表示手段に表示される画像を制御可能な制御手段（サブCPU102及びレンダリングプロセッサ105）と、を備え、前記制御手段は、第1画像と第2画像とが一体的に表示された第1表示態様（例えば、図122参照）と、前記第1画像

と前記第2画像とが異なる位置に表示された第2表示態様（例えば、図124参照）とを前記画像表示手段に表示する制御を実行可能であり、かつ、該第1表示態様が表示された後に、該第2表示態様が表示される特定表示制御を実行可能である構成を有している。この構成により、本発明に係る遊技機は、第1画像と第2画像とを一体的に表示させる第1表示態様で表示させた後に、第1画像と第2画像とを異なる位置に表示させる第2表示態様で表示させるため、表示制御にかかる処理負荷を低減することができる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

なお、本発明に係る遊技機において、前記第1表示態様が表示された後に、前記第1画像と前記第2画像とが一体的に移動し、前記第1画像が第1位置で表示され、その後、前記第2画像は該第1位置と異なる第2位置まで移動可能であってもよい。また、本発明に係る遊技機は、遊技者の操作を検出可能な操作検出手段（ストップスイッチ17S）を備え、前記第1画像と前記第2画像とが一体的に移動している所定の期間において前記操作検出手段により操作が検出されたときに、前記第1画像を前記第1位置で表示可能であってもよい。